



家読とは…

「うちどく(家読)」は家族で読書の習慣を共有することです。

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく(家読)」の基本です。

家族が本を通じてふれあい、同じ時間を楽しく過ごしてもらおうという取り組みです。具体的に何をすればいいのか・例えば、

- ・家族で同じ本を読む
- ・お互い読み聞かせをし合あう
- ・読んだ本について感想を話し合あう
- ・「家読ノート」で本の感想記録を作る
- ・工作や料理のハウツー本と一緒に読んで作ってみる
- ・図鑑を持って、身近な虫や植物について、一緒に調べてみるやり方はいろいろです、その他にもご家庭で取り組んでみてください。

難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。同じ本をみんなで読めば、会話もいっそう弾みます。また、お互いに本をすすめあう、家族そろって本屋さんで本を選ぶなど、読む本について相談しあうことでもコミュニケーションが深まることでしょう。



こころをつなぐ、明日をつなぐ 家族の真ん中に「うちどく(家読)」

児童の皆さんへ

今までにどんな本を読んだことがありますか。きっと心に残る本があるでしょう。

本は好きですか？読書を少し苦手としているひとは、文字の多さから敬遠していませんか。

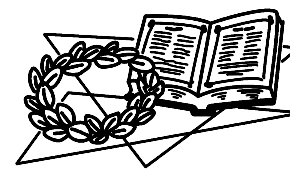
保護者といっしょに楽しみながら本を読むときっと読書のおもしろさに気付くでしょう。

読書はみなさんがこれから大人になっていくために必要な多くの知識や夢を与えてくれます。読書は「心の栄養」なのです。読書で栄養を与えて心豊かな人間に成長しましょう。



わがやの家読(うちどく)ルール

1. 曜日の時から分間
2. テレビを消す
- 3.
- 4.
- 5.



絆深まる家族の読書「うちどく(家読)」
読書で家族のコミュニケーション

学校で「朝の読書」、家庭では「うちどく(家読)」
家族で本の話をしてしようよ!